赤川先生の想い出

M⑱　芦分範之

私が赤川研究室に入れていただいたのはたまたまでしたが、すぐにその自由闊達な雰囲気に魅了されました。学部３年生まではあまり勉強に身が入らなかった私も、４年生、修士と進むにつれ、赤川先生を初め諸先生方、先輩の方々が真剣に研究に取り組まれる姿を見て、しだいに勉強に本腰を入れるようになっていきました。修士のときの研究テーマは気液２相層状流の過渡時の挙動を調べることで、直接の指導教官は坂口先生でしたが、液相部の非定常状態での流速の測定に苦労していた時に、赤川先生が時おり実験室に来られて励まして下さいました。何かの折に、赤川先生は、先生が以前アメリカに留学された時、留学先の教授が、「思うようにいかないときでも nervous になってはいけない」と言っていたというお話をされました。この話は何故か私の記憶に残り、後年、私が日立製作所の研究所で本格的に研究に取り組むようになってからも、力を与えてくれたように思います。また、修士論文の abstract を黒板に英文で書くように指示され、厳しく指導していただいたことも想い出されます。日立製作所時代にも、学会等でお会いした時にはいつも励ましのお言葉をいただきました。

赤川先生には研究者としての基本的姿勢を教えていただきました。赤川先生、本当にありがとうございました。

（ 終 ）

追悼文受付日：平成 28 年（2016 年）4 月 11 日　